
REDDプラスへの取組動向

- タンザニア連邦共和国 Country Report -





森林の概況

- タンザニアには35,300千haの森林を有し、そのうち18,300千haは保護林(Reserved Forests)である。保護林のうち、1,600千haは水源涵養林、生物多様性、及び土壌保全を目的とした森林であり、2,000千haは野生動物保護区に指定されている。80千ha以上の保護林は、政府が所轄する16のPlantation Forestryとして、4,100千haは参加型森林管理(Participatory Forest Management: PFM)の下にある。また、17百万haを越える森林は、適切な管理の枠組みが無く、こうした森林において、森林減少が顕著に発生している。
- タンザニアは、2000年から2010年の森林減少面積で、世界5位(マイナス400千ha)となっている。森林減少・劣化の要因として、保護林への不法侵入、耕作地への転換、山火事、違法伐採、鉱山開発、薪採取、バイオ燃料生産のための大規模農業の導入等がある。



National Forest Inventoryの有無/位置付け

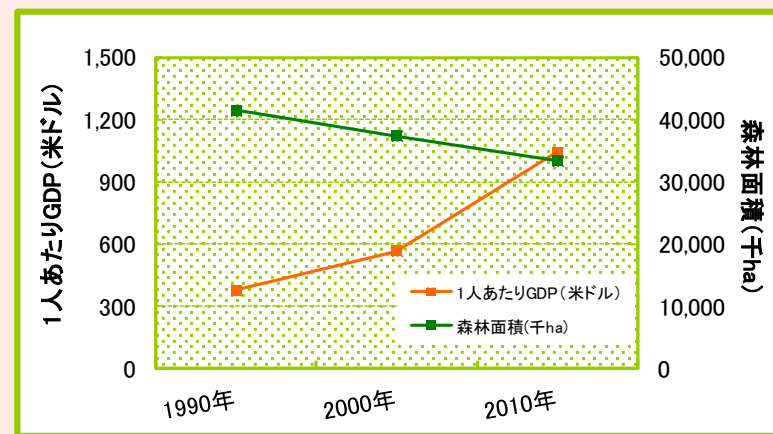
- 2009年5月より、タンザニア政府、ノルウェー政府及び国際連合食糧農業機関(Food and Agriculture Organization: FAO)は、REDDモニタリングレポートや測定・報告・検証(Measurement, Reporting, Verification: MRV)スキームのデザインに必要なデータ作成を目的とした3年間のプロジェクトを開始し、森林資源インベントリは2012年6月に完了予定である。

経年変化(FAOデータ)

【表8-1 タンザニアの概況】

(出典: FAO, 2011; UN data)

	1990年	2000年	2010年
人口(中位推計)(千人)	25,479	34,038	44,841
GDP(百万米ドル)	4,259	10,186	23,057
1人あたりGDP(米ドル/人)	377	567	1,044
GDP成長率(%)	7.0	4.9	7.0
国土面積(千ha)	94,730	94,730	94,730
森林面積(千ha)	41,495	37,462	33,428
年平均森林減少面積(千ha/年)	-	403	403
Primary Forest(千ha)	0	0	0
Other naturally regenerated forest(千ha)	-	-	33,188
Planted Forest(千ha)	150	200	240
Carbon stock in living forest biomass(百万トン)	2,505	2,262	2,019



【図8-1 タンザニアの1人あたりGDPと森林面積(1990~2010年)】

今後の森林計画

- タンザニアREDDプラス戦略では、2012年末を目処に実施体制の強化、能力開発、REDDプラスに関する情報共有システム、啓蒙の強化、様々な農業・生態ゾーンでの森林減少の要因に対処するためのメカニズムの強化等を目的としている。REDDプラスに向けた準備も進めている。また、REDDプラス戦略は、既存の国家戦略(Vision2025)、1997年に策定した国家環境政策、1998年に策定した参加型森林管理を促進する森林政策、そして1995年に策定した国土政策等と関連、調和させるとしている。



REDDプラスへの取組状況

- 2008年、タンザニア政府とノルウェーとの気候変動・森林に関する2国間合意が成立。REDDプラス政策、官/民/NGOとの三者によるREDDメカニズムとパイロット事業、REDDに関する研究、訓練、教育の実施、MRVシステム開発を含む、制度的な発展、REDDの資金システムの開発、成果ベースの資金配分等に焦点を当ててREDDプラスに取組むことになった。
- タンザニアにおけるPFMIは、中央政府から地方政府への実質的な森林管理を移譲したもので、地方分権的な森林管理となっている。PFMIは、(1)コミュニティーベースの森林管理、(2)中央政府の森林局での協同森林管理(Joint Forest Management: JFM)の2種類がある。タンザニアはPFMIがREDDプラス実施の原動力になると期待しており、2009年にはNational REDDプラスタスクフォース(TF)を設置、TFの下に5つのワーキンググループ(WG)を配置した。5つのWGは、(1)MRVシステム、(2)政策、法律、ガバナンス、REDDプラスセーフガード、(3)REDDプラスの資金メカニズム、(4)エネルギードライブ、(5)農業ドライブとなっている。
- タンザニアのREDDプラス戦略発展プロセスは以下のとおり。
 - 初期分析フェーズ: タンザニアにおけるREDDプラスの可能性を特定する調査、REDDプラス実施能力向上、課題の選定
 - 戦略的分析及びパイロットフェーズ: より深い分析とパイロットプロジェクトの実施(例: REDDプラス見直しのための政策、法律、制度枠組み)
 - 戦略調整フェーズ: 戦略案の共有のためのワークショップ開催、コメントの交換等
- 現在は、参加型で機能的なモニタリングのためのMRVシステムを確立し始めた段階で、モニタリングシステム確立後は、国ベース、県ベース、ローカルベースにおいて将来的に国家森林資源モニタリングアセスメントプロジェクトを実施する予定。また、9つのパイロットプロジェクトでは参照シナリオを作成している。

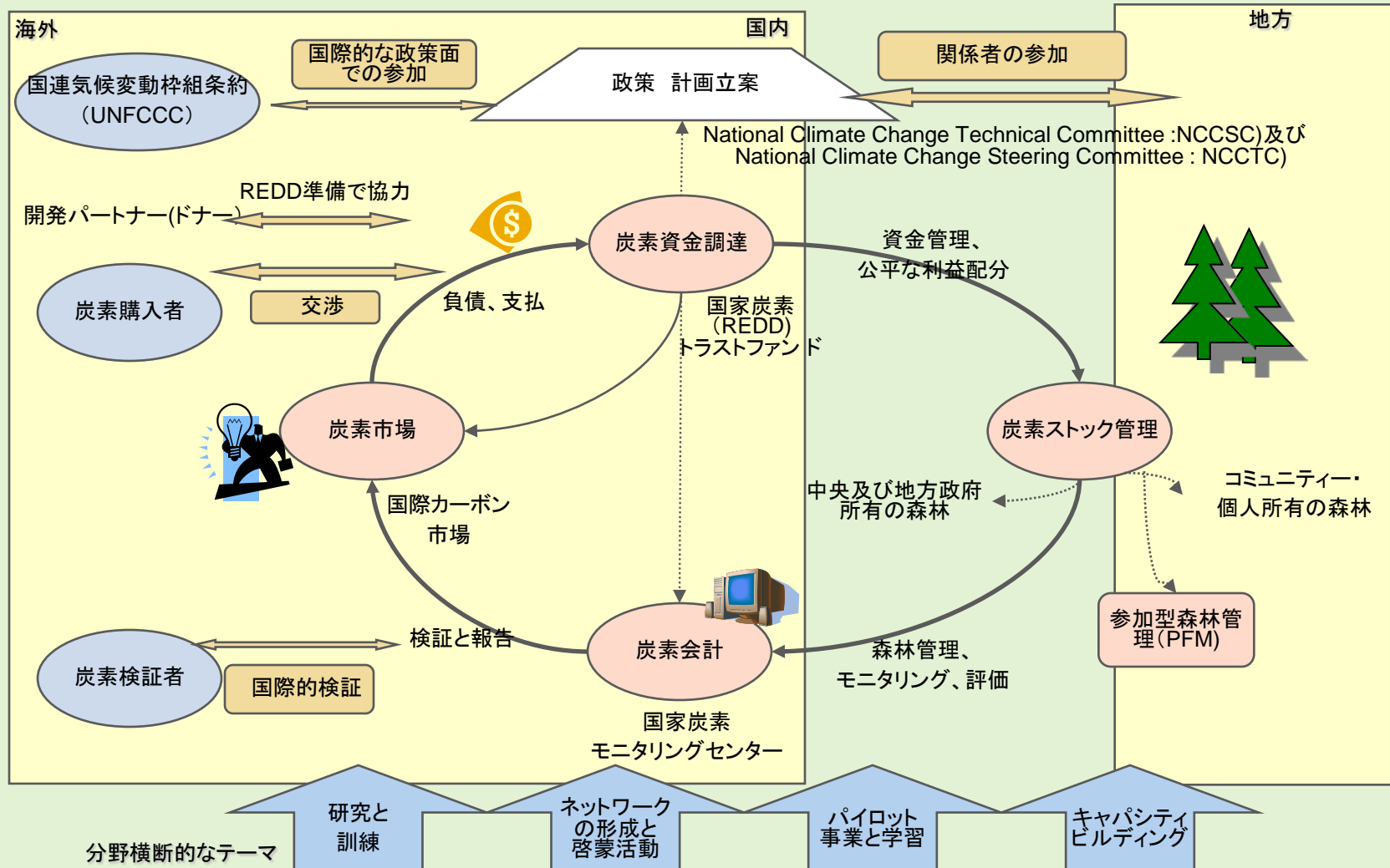
【表8-2 タンザニアにおける環境社会インパクト活動及び予算の概況と計画】

主たる取組	従たる取組	予想額(単位: 千米ドル)				
		2010	2011	2012	2013	合計
Environmental and Social Assessment (SESA)の最終化、及びSESA担当機関に対する組織への訓練・能力向上	コンサルテーションと技術協力	120	50			150
	National Environmental Management Council (NEMC)とTFとの調整と支援	30	30	50	30	140
	成果を共有するための国内関係者とのワークショップ	55				55
	国・県レベルでの訓練	80	55	40		175
	SESA実行のためのLocal Government Authority (LGA)とその他組織への支援	40	35	30		105
	計	325	170	120	30	625
政府		25	30	15	3	73
FCPF					7	237
UN-REDDプログラム(もしあれば)		100	70	45	20	235
ノルウェー・タンザニア気候変動パートナーシップ		100	70	60	7	237



REDDプラスへの取組状況

- タンザニアにおけるREDDプラス実施の枠組みは以下のとおりとなっている。



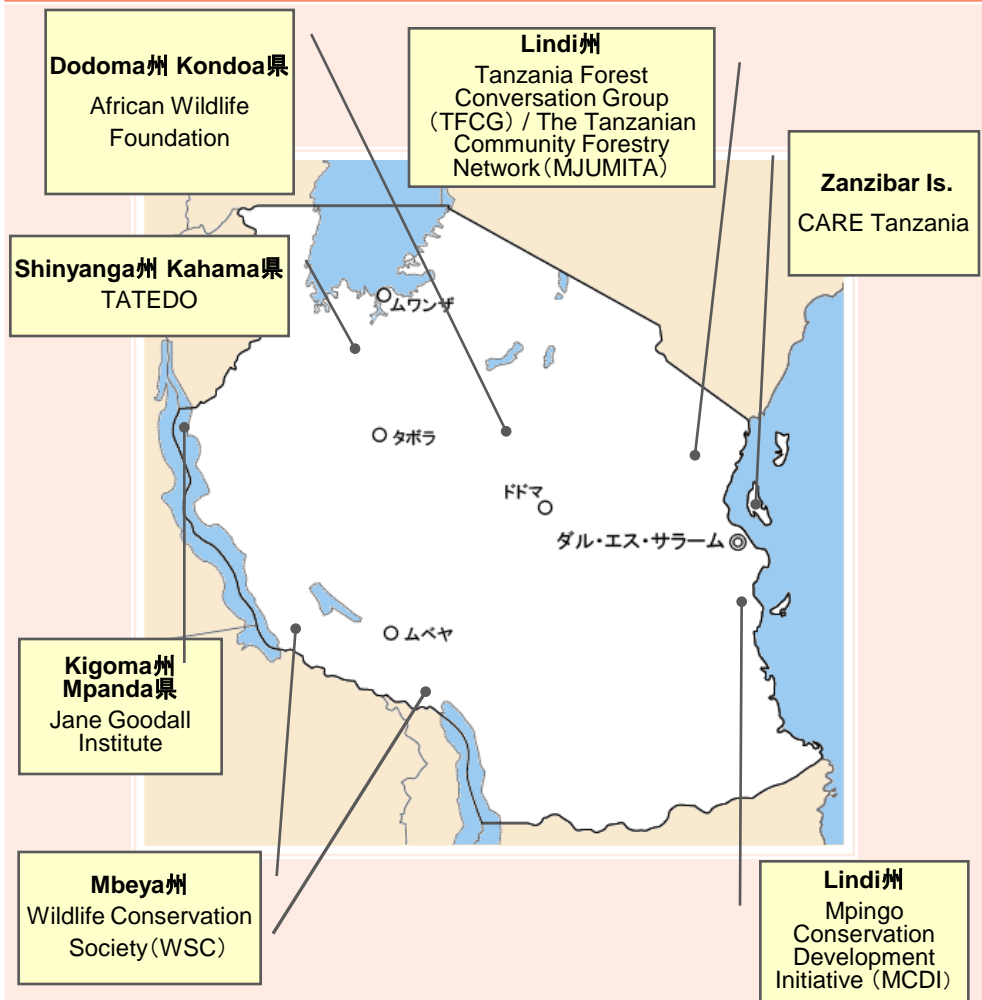
【図8-2 REDD戦略的実行フレームワーク】



REDDプラスに関する主だった取組

2004年	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理法 (Environmental Management Act) 策定。同法により、副大統領府の環境部が、気候変動に関する全ての課題の調整役となることを規定
2008年	<ul style="list-style-type: none"> 4月、ノルウェー政府と気候変動に関する課題への対応についてパートナーシップを形成するための同意書に署名 タンザニア政府、REDD Readiness プロセスを開始
2009年	<ul style="list-style-type: none"> 1月、National REDDプラスタスクフォース (National REDD Task Force: NRTF) 設置 2月、世界銀行の森林炭素パートナーシップ (Forest Carbon Partnership Facility: FCPF) に、改訂版Readiness Programme Idea Note (R-PIN) を提出 5月、国際連合食糧農業機関 (Food and Agriculture Organization: FAO) と、森林資源のモニタリング・評価を目的としたNational Forest Resource Monitoring and Assessment (NAFORMA) に関する信託基金協定を締結
2010年	<ul style="list-style-type: none"> 10月、FCPFにReadiness Preparation Proposal (R-PP) を提出
2011年	<ul style="list-style-type: none"> 11月、REDDプラス戦略文書を発表
2012年	<ul style="list-style-type: none"> REDDプラス信託基金 (National REDD+ Trust Fund) の設置 (予定) 国家炭素モニタリングセンター (National Carbon Monitoring Center: NCMC)、及び国家森林炭素トラストファンド (National Forest Carbon Trust Fund) の設置 (予定) REDDプラスウェブサイトの構築中 国家REDDプラス戦略案準備中 12月、ベースラインシナリオ (≒参照レベル)、及びMRVシステムの確立 (予定)

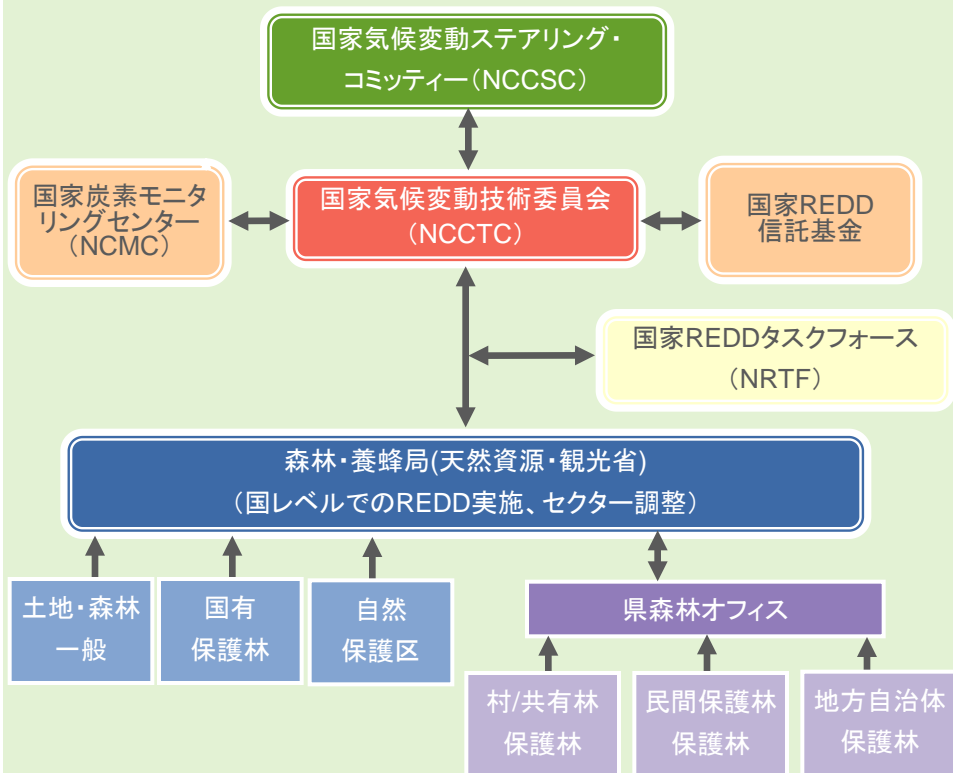
REDDプラスへの取組 (Demonstration Activity)



【図8-3 タンザニアにおける主だったREDDプラス関連事業実施状況】



REDDプラス実施体制



【図8-4 タンザニアにおけるREDDプラス実施体制】

- タンザニアにおいて、REDDプラスに関する活動の調整は、国、地方、県の3レベルにて実施。

REDDプラスに関する省庁及びその役割

【表8-3 タンザニアのREDDプラス関係省庁及びその役割】

組織名	REDDプラス実施の際に想定される役割
国家気候変動ステアリング・コミッティー (NCCSC)	<ul style="list-style-type: none"> ■ エネルギー、財務、産業、法務、国土、農牧畜開発、外務等、13省庁の事務次官から構成される横断的な委員会であり、REDDプラスの実施に関する全体的な助言、実施の監督を行う ■ 国家レベルの気候変動問題全体を担当する副大統領府に対して、報告を行う
国家気候変動技術委員会 (NCCTC)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各省庁の局長から構成される委員会であり、REDDプラス戦略の実施を含む、気候変動に関する課題実施に関する技術的な監督を行う
国家炭素モニタリングセンター (NCMC)	<ul style="list-style-type: none"> ■ REDDプラス活動の確認、報告、測定に関する技術的なサービスを提供する。センターは今後に設置予定
国家REDD信託基金	<ul style="list-style-type: none"> ■ REDDプラス戦略実施のため、財源を纏め、関係機関に対して配分を行う ■ 基金は今後に設置予定
国家REDDタスクフォース (NRTF)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 政府によって任命された8名から構成 ■ 国内におけるREDDプラスに関する活動を調整し、REDDプラス準備に関する技術的、実務的な課題を監督する。タスクフォースは、最終的に恒久的な機関になる
森林・養蜂局 (天然資源・観光省)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 森林政策、調整の責任を有しており、国家REDD戦略策定プロセスを開始
REDDプラス技術作業部会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国家REDDプラス戦略策定プロセスに対して、技術的インプットを提供 ■ 活動計画策定に向けたシンクタンクとしても機能
国家REDDプラス事務局	<ul style="list-style-type: none"> ■ NRTFやREDDプラス技術作業部会の活動支援 ■ 国レベルでの能力開発における支援



Demonstration Activityの実施状況

- タンザニアでは、ノルウェー、UN-REDD、フィンランド、FAOが連携しながらREDDプラス実施体制の確立、REDDプラス戦略の策定、森林資源インベントリを支援してきた。国際機関や二国間ドナーの支援に加え、NGOによるREDDパイロット・プロジェクトがタンザニア国内各地で実施されている。

【表8-4 タンザニアにおけるDemonstration Activity実施及び資金支援の状況】

支援タイプ1	支援タイプ2	主だったドナー	実施場所	取組の概要
技術支援	国際機関による支援	UN-REDD	国レベル	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2009年10月から2年間を対象としたプロジェクト。予算は4,280千米ドル ■ REDDに関するガバナンスの枠組み形成、キャパシティの強化等を目的としたプロジェクト
技術支援	国際機関、二国間ドナーによる支援	フィンランド政府、FAO	国レベル	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2009年5月からREDDモニタリング・レポートやMRVスキームのデザインに必要なデータ(森林資源インベントリ)作成を目的とした「森林資源のモニタリングと評価」に関する3年間のプロジェクト(NAFORMA)を開始 ■ 森林資源インベントリーは、2012年6月に完了予定
技術支援	二国間ドナーによる支援	ノルウェー政府	国レベル	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2009年からノルウェー政府は、REDDプラスに関する様々な支援を提供 <ul style="list-style-type: none"> ● 2009年から2013年を対象とした、国家REDDプラス戦略の策定、情報共有を目的としたプロジェクト ● 2010年から2014年を対象とした森林モニタリング、REDD財政メカニズム構築支援
パイロット事業実施	NGOによる支援	CARE International	ザンジバル島	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2010年から2013年の4年間を対象とした、コミュニティー森林管理を通じたジェンダー平等の貧困削減を目的としたプロジェクト ■ 27千haの森林を対象としたREDDパイロットプロジェクトを実施
パイロット事業実施	NGOによる支援	African Wildlife Foundation (AWF)	Dodoma州 Kondoa県KOLO Hills	<ul style="list-style-type: none"> ■ タンザニア中部Kondoa県のKolo Hillsの約56千haを対象とした3年間のREDDパイロットプロジェクト ■ プロジェクトを通じて2.6百万t-CO2の削減が期待されている
パイロット事業実施	NGOによる支援	Jane Goodall Institute (JGI)、ノルウェー大使館	タンザニア西部 Mpanda県、Kigoma県	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2010年、ノルウェー大使館等から2.7百万米ドルの資金を得て、タンザニア西部にて実施されているREDDパイロットプロジェクト。約70千haの森林が対象 ■ 活動の一環として、コミュニティーの森林のインベントリー、モニタリング、管理を支援するための研修を提供



Demonstration Activityの実施状況(つづき)

【表8-4 タンザニアにおけるDemonstration Activity実施及び資金支援の状況(つづき)】

支援タイプ1	支援タイプ2	主だったドナー	実施場所	取組の概要
パイロット事業実施	NGOによる支援	Tanzania Forest Conservation Group (TFCG)、The Tanzanian Community Forest Conservation Network (MJUMITA)、ノルウェー外務省	Lindi州及びDodoma州 Mpwapwa県・Morogoro州 Kilosa県	<ul style="list-style-type: none"> ■ 貧困層に裨益するコミュニティー重視のREDDのパイロットプロジェクト ■ 2009年9月からKilosa県等を対象とした5年間のプロジェクト。対象となる森林面積は、約5万ha、プロジェクト費用は約5.9百万米ドル ■ 活動は、コミュニティーへのキャパシティービルディング及び、カーボン企業の設立等
パイロット事業実施	NGOによる支援	The Mpingo Conservation & Development Initiative (MCDI)	タンザニア南東部	<ul style="list-style-type: none"> ■ 参加型森林管理と統合したREDDパイロットプロジェクト
パイロット事業実施	NGOによる支援	WCS	タンザニア南部Mbeya州等	<ul style="list-style-type: none"> ■ タンザニア南部高地におけるREDD活動に参加するためのキャパシティー開発を目的としたプロジェクト
パイロット事業実施	NGOによる支援	WWFタンザニア	国レベル	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国内の森林の炭素貯蔵に関するデータ収集、管理を目的としたネットワークの形成、そのための能力強化
パイロット事業実施	NGOによる支援	Tanzania Traditional Energy Development and Environment Organization (TaTEDO)	タンザニア西部Kahama県等	<ul style="list-style-type: none"> ■ コミュニティーレベルにおけるREDD実施のための制度的枠組みの形成とキャパシティーディベロップメントを目的としたプロジェクト

その他

- タンザニアの森林基盤データの整備及び管理に係る技術支援は、フィンランド、FAOが2009年から3年間の予定で実施している。



UNFCCCへの関与情報

【表8-5 UNFCCCでの取組状況】

実施事項	実施状況
国連気候変動枠組条約	署名：1992年6月12日、批准：1996年4月17日
京都議定書	批准：2002年8月26日
DNA担当組織	副大統領府 環境局
第1次国別報告書	2003年7月4日提出
第2次国別報告書	未提出(2011年2月17日現在)

UNFCCCへ提出している森林情報

【表8-6 A/R CDMのための森林定義】

項目	値
森林面積	(記載なし)
樹冠率	(記載なし)
樹高	(記載なし)

【表8-7 A/R CDMの対象森林】

項目	A/R CDMの対象状況
ゴム林	(記載なし)
竹林	(記載なし)
オイルパーム	(記載なし)

その他の特徴的な地球温暖化対策

- タンザニアにおいてクリーン開発メカニズム(Clean Development Mechanism: CDM)理事会の登録済みプロジェクトは1件のみとなっている(2012年2月6日現在)。
- タンザニアでのREDDプラス実施における課題として、森林評価やデータ管理に関するキャパシティ不足、ローカルレベルでの法執行、広大な森林の未確定の所有権、森林セクターの資金不足、県や省レベルでの人材不足等が指摘されている。

出典(参考資料)

- United Republic of Tanzania (2009) National Framework for Reduced Emissions from Deforestation and Forest Degradation (REDD)
- United Republic of Tanzania (2011) National Strategy for Reduced Emissions from Deforestation and Forest Degradation (REDD+): Executive Summary. November, 2011
- Tanzania REDD+ Initiative Webサイト
- FCPF Webサイト